

## 第1回新しい学校づくり三好市・東みよし町地域協議会議事録

- 【協議題】 (1) 高校再編方針について  
(2) 新しい学校の教育について

### 【協 議】

#### 委員

再編方針では、「活力と魅力ある学校づくり」を目標にしているようですが、今まではそうではなかったのですか。また、その条件である学校規模の確保、教育内容の充実、教育環境の整備はこれまでできていなかったのでしょうか。それとも改めてこれらを考え直さなければいけない時期が来ているのでしょうか。

#### 事務局

今までも各学校は頑張ってきましたし、教育委員会も支援をしてきました。しかしながら、生徒数の減少により、今までの教育の内容を何年か先には維持できない状況になります。従って、この地域協議会では、この地域の教育を維持、発展させていくための新しい学校のあり方をご協議いただきたいと考えております。

#### 委員

各学校には歴史があるように、地域に密着した学校づくりが行われています。県西部の山間地域は経済的にも社会的にも効率が悪く、平地の都市部の水準に追いつきたいというのが地域住民の願いでもありました。そうした中で、戦後、地域住民の手によって作られたのが三好農林高校です。ところが再編計画を見ると、県下全体に普通高校は据え置きで、専門高校が再編対象になっています。再編の問題の底辺には財政的な問題があると思いますが、数字だけで考えるべきではないと考えます。教育が国あるいは県の百年の大計であるというのであれば、美馬三好のような山間部の教育についても重要であるとの考えの基に、論議する必要があるのではないのでしょうか。

#### 事務局

只今の意見はこれから先のこの地域の教育を考えていく参考になります。これを受けて各委員の方々のご意見もお聞きできればと思います。

#### 委員

高校再編方針、3高校の現状、三好地域の課題についての説明に対するご質問を受け、その後で今のお話も含めてこれから行うべき教育についていろいろなご意見を伺いたいと思います。

#### 委員

普通高校は進学希望率が高く、これを据え置こうというのもわかりますが、高校卒業後の進学先

は本当に子どもたちの意志を反映しているのでしょうか。義務教育の段階で、もう少し進路についてアドバイスをする必要があるのではないかと思います。そうであれば、学校規模の目安として示された平成30年度に三好が49人、辻が92人、池田が132人という数字は実際には違ってきます。もう一度教育を見直し、地域の発展や活性化はどうあるべきかという観点から考えていかなければならないのではないのでしょうか。

#### 委員

今まで3校の思いや現状をそれぞれヒアリングして議論し、教育委員会で再編方針が決まったわけですので、再編方針に基づいて今後どうしていくのかということ話し合うのがこの会であることをご理解いただいた上で、これからの議論を進めて参りたいと思います。

#### 県教育委員会

地域の生徒数が減っていく中で、平成30年度の三好地域の3高校の定員予測を示したところ、委員の方からこれは将来の姿ではないだろうというご意見をいただきました。この資料は現在の生徒数と定員の割合から弾き出した数字であり、将来本当にその定員になるとは限りません。また、専門高校だけが再編の対象になっているというご意見ですが、決して普通科高校と専門高校を区別したわけではなく、現在小規模化している高校を対象としたものです。

#### 委員

それでは、新しい学校づくりの協議ということで、本日は新しい学校の教育、地域にとって魅力ある教育、育てたい生徒像といった視点から、学校の基本となる教育の土台についてそれぞれのお立場でご発言いただきたいと思います。

#### 委員

私は徳島市内の出身で、こちらに来て思ったのは、徳島県であって徳島県ではないということです。地元の中学校から香川や愛媛などへ進学している生徒もいます。介護福祉士やヘルパー1級の資格が取れる学校も県外にはありますが、辻高ではヘルパーの2級しか取れません。地元で就職したい方も多いと思うので、資格が取れるものがあれば子どもが地元に残りやすいのではないかと思います。また、仕事がないと若い夫婦が住めないのも、ここでできる仕事を増やしていく必要があると思いますし、その点では三好市での仕事につながるような学校づくりが求められると考えます。農林業は、若い人にとって魅力があるかどうかは疑問ですが、大変大事なことだと思います。

#### 委員

私は仕事の上で、不登校の生徒や高校にうまく適応できずに中退する生徒と接しています。そうした生徒たちが、適応しやすいのが定時制高校です。定時制は、少人数であり、ゆったりとしたカリキュラムがあるからです。そこで、学校や集団生活に適応できにくい生徒が増えてくる中、これからの高校では少人数でゆったりとした教育環境やカリキュラムを考えることも大切であると思います。

#### 委員

そういった多様な状況の子どもたちのための受け皿を作ることも大事であると考えます。

#### 委員

この協議会では、新学科の設置も視野に入れて議論するという事になっているようですが、私に関わった生徒の中に、中学校を卒業して看護科を目指した子どもがいて、県外へ出るか遠くの富岡東に行くかということ相談されたことがあります。そのような選択を迫られている生徒がいるということ踏まえて、新学科を考えていただければと思います。

#### 県教育委員会

新学科についてのご意見をいただきましたが、再編方針の中では、例として森林環境科などの設置を提案しています。新しい高校の学科をどうするかということですが、今ある学科をそのまま置くのか、また新しい魅力ある学科を設置するのかを合わせてご協議いただきたいと思います。その過程では、どういう学科がこの地域にふさわしいのか、その学科に進学する生徒がどれくらいいるのか、入口と出口の問題も含めて幅広い観点から協議していただきたいと思います。

#### 委員

学科については、新学科または既設学科の再編を含めてご意見をいただきたいと思います。

#### 委員

それに関連してですが、高校再編方針の三好市・東みよし町における再編の姿の所で、「地元から要望のある新学科の設置も含め」とあります。学科を考えるのであればそのあたりのことも教えていただきたいのですが。

#### 県教育委員会

再編方針をまとめる中で、パブリックコメント、地域別説明会を通して森林環境科はどうかという意見が出されました。それを具体例として挙げていますが、この協議会の中で、改めてこういった学科がこの地域にふさわしいのか、ご意見をいただけたらと考えています。

#### 委員

新学科を設置することを聞き入れるのか入れないのか、はっきりと答弁していただきたいと思います。先日の美馬の地域協議会の結果を徳島新聞で見ましたが、看護科設置の要望に対して教育委員会は無理だと述べられたようですが、委員の意見を受け入れるのかどうか、そのあたりをはっきりさせていただきたいと思います。

#### 県教育委員会

美馬地域での看護科設置が無理であるとは申ししていません。現在、徳島県下で看護科を設置しているのは富岡東高校羽ノ浦校だけです。富岡東高校を例としてご説明しただけです。例えば、看護科というのは県教育委員会だけでは開設が難しく、実習を受け入れてもらう病院がないといけません。富岡東の場合は、学校の近くに大きな病院が3つあり、合わせて1000程度の病床

数を持っています。また、外部講師として45名程度の医師の方々のご協力を得、年間700時間ぐらいの講義をお願いしています。そうした現状を美馬地域にあてはめると、ハードルは高いということをご説明したわけです。この協議会でも、ご希望はできるだけ承りたいと考えています。ただ、単なる要望というのではなく、その学科が本当にこの地域に必要なのか、この地域の教育力を結集して本当に展開できるのかということを中心に、その学科に進学する子どもを毎年確保できるのか、卒業後地元で就職ができるのか、既存の学科の定員が減ってもよいのか、特定の目的を持った学科では多様な生徒を受け入れられなくなるがそれでもよいのか、そういうことも含めて十分ご協議いただきたいと考えております。

#### 委員

実際3高校については、高校の魅力というよりもどちらかというと成績でランク付けされているような感じがします。今回の再編は、その意識を払拭するような学校をつくるチャンスではないでしょうか。先ほど、他の委員がおしゃられたように、ここに三好高校ができたのは、その時代に農林業が活発だったからです。今はそれを職業とするのは難しい状況ですが、たぶん今後は重要になってくると思います。小学校、中学校も含めて子どもたちに農林業や地域の大切さを教え、ここにある資源を地域全体として子どもたちと一緒に育んでいく中で高校を選べるようになってほしいと思うのです。そういうものを目指した高校づくりをやっていかなければならないと思います。

#### 委員

大変貴重なご意見をいただきました。まさにそののところに取り組むのがこの協議会でしょう。どういう高校であればこれからの子どもたちが夢を持って喜んで行ける学校になるのか、そのあたりを探って参りたいと思います。

#### 委員

先ほどの他の委員の意見に総論では賛成です。県西部が政治・経済・文化・教育において蔑視されてきたことは歴史が証明しています。しかしながら、この三好地域は他の3県と接しており、他県の新しいニュースもいろいろ入ってきますし、学ぶべきことも多くあります。そうしたことも含めて、県教育委員会には、全県下にわたって公正な教育行政の遂行をお願いするとともに、委員の意見を充分汲み上げていただきたいと思います。

#### 県教育委員会

県西部だからといって決して違った目で見ているわけではありません。県下7地域でこうした地域協議会を開いてご協力いただいています、県西部だけではなく、それぞれの地域で出たご意見をできるだけ汲み上げて、地域の皆さんのご要望に添える形で進めていきたいと考えております。

#### 委員

3校とも歴史が非常に長く、なぜその学校がその地域にできたかを考えると、このままの状況が続けば一番いいと思いますし、各学校とも特色ある学校づくりに頑張っていま

す。ところが生徒数減，人口減の問題，こればかりはどんなに頑張ってみてもどうしようもなく，そういう中で2校にせざるを得ない状況は理解できません。その場合に，基本的には今のコースや学科を合わせる状況を考えていかなければならないと考えます。現在の科やコースでほとんど出尽くしている気がしますが，前から言われているのは看護科の問題です。これまでも高校卒業後に三好医師会准看護学院に進学する者がいたように，確かに希望者はいます。ただ，それがどれだけ続くかという点，疑問があります。新しく考えるとすれば，そういうところではないでしょうか。

#### 委員

保護者の観点から見れば，先程も話が出たように成績主義で高校を選択していると思います。そうではなくて，商業・農業系でもエキスパートを育て専門学校に進んだり，さらに，就職して即戦力として使えるような生徒づくりをしていけば，地域としても助かるのではないのでしょうか。

#### 委員

地域を担う子ども，人材として地域に即貢献できる人間を育てることなど，いろいろな視点が必要だと思います。

#### 委員

私は副会長として会長を助け，皆さん方の意見をうまく取り入れ，何とかいい方向を見つけていきたいという気持ちを持っています。中学校の教育については，今のところ成績中心に進路を考えているのではないかとどなたかからご指摘いただいたので，地域の教育委員会としても各中学校の進路指導の在り方等を十分考えて，地域社会に役立つ自立した生徒を学校教育の中で育てないといけないと考えます。

#### 委員

池田高校は一人一人を大切にしていきながら，一人一人の夢や希望を叶えていきたいと考えています。普通科ということで，進学をどうするかというのが非常に大きな命題です。三好地域の中学生をいかに三好3校に集めていくか，外に流出ではなく，他地域から三好地域の3高校に来たいという生徒をいかに増やしていくかということに，私たちは必死に努力しています。それぞれの立場は違うのですが，3高校ともに一生懸命努力しています。三好地域に他地域からたくさんの生徒が来るような魅力ある学校にしていく中で，新しい学科についても考えていかなければならないと思います。私たちとしては三好地域が活性化していくような高校再編にしていく必要があると思います。そのためにも，委員の皆さんのお知恵をお借りしたいのです。

#### 委員

三好高校では，教職員とも話をしていますが，今回の高校再編で三好の地に農業教育・商業教育を根付かして残していきたいと思っておりますし，専門高校の目標として，地元に残る子を育てていきたいと考えています。一方，大学に行きたい生徒についてはその子の能力

・適性に合わせて、専門高校枠を利用した進学之道も開いていきたいと思っています。子どもたちに高校再編のことを全校集会で話したことがあります。子どもたちにもわかりやすく説明する必要がありますし、高校再編は高校再編として、今入学する子どもたちをしっかりと教育していくことが大切だと思います。この地域に必要な新しい学校の姿についてお知恵をいただき、議論していただければありがたいと思います。

#### 委員

辻高校です。私ども教員は毎日目の前に子どもがいます。特に、この三好の素直な目の輝く子どもたちを育てていきたいという思いは、非常に強いものがあります。先程、多様な子どもたちへの受け皿が必要であるというお話がありましたが、私たちはこの度の高校再編についても、軸足を子どもに置いてやっていきたいと考えています。小学生であれ、幼稚園児であれ、昨日生まれた子どもであっても、子どもたちは一人一人顔が違うように、考えることも将来の夢もみんな違うものを持っています。その子たちをどんなふうにかかしていけるか、その子どもたちが喜ぶ再編の形をこの協議会で作っていきたいという思いが強いのです。そのために少子化が進むこの地で、限られた予算と限られた人的な財産をどう生かしていくかという大きな問題がこの再編にかかっています。何とか子どもを活かせるような再編をこれから考えていきたいと思っています。

#### 委員

ところで、3校とも中央構造線に近いところに位置しています。建物の耐震性についてはデータを持たれているのではないかと思うのですが、再編した時に、今の高校の建物は使うのでしょうか。

#### 県教育委員会

耐震診断については施設整備の担当がおりまして、現在、県下のすべての公立学校について、耐震の優先度を書類調査しているところです。実際にどの程度どのように補強しなければならないかというのは、詳しい診断をしないとわかりません。順次診断をし、終わったところから耐震補強をしていくわけです。ちなみに昨年度は4校耐震補強をしています。今年度は5校が工事にかかっています。再編後、いずれの学校の施設を使おうと、きちんと耐震補強をして安全な施設にして使っていくことにしています。

#### 委員

ご意見は尽きないと思いますが、予定の時間を過ぎています。今日は第1回目ということで、いろいろな意見をいただきましたが、学校再編の方向が見えかけてきたように思います。子どもにはいろいろな特性があります。自分の特性を活かすことができ、そのことに誇りを持って通える学校とはどのような学校か、またもう一つは、地域を支える人材を育てるという視点からどういう教育がこの地域に必要なのか、そのような二つの方向が皆さんのご意見から出てきたのではないかと思います。次回には、そうした議論をより具体的な方向に深められるような準備を事務局にお願いいたします。ざっくばらんにいろいろな視点から意見を出し合う中で、これからの子どもたちの学校教育をこの場で方向付けで

きたらと考えます。今日は大変ありがとうございました。今後ともどうぞよろしく願い  
いたします。